

報 道 提 供 資 料

柏原ビエンナーレ実行委員会 事務局
〒582-0026 柏原市旭ヶ丘 3-1-9
(村瀬 浩 方)
電話：072-976-2280
Eメール：info@appoko.org

2016年8月21日

報道関係各社の皆様

柏原ビエンナーレ実行委員会

柏原から発信する！芸術祭 第7回 柏原ビエンナーレ 開催

柏原ビエンナーレ実行委員会は、2016年10月9日(日)～16日(日)の期間、柏原市内各会場を舞台にして、実行委員会方式にリニューアルされ、公募制になった新たな総合的な芸術祭としての「第7回柏原ビエンナーレ」を開催します。従来の展覧会部門(一般部門、こども部門)、アートフェア部門に加えて、新たにパフォーマンス部門を設け、柏原市との共催も実現し、おおさか柏原を芸術的・文化的に発展させる起爆剤としてのアートフェスティバルで、名実ともに「柏原から発信する！芸術祭」に生まれ変わりました。是非、取材並びに報道にご協力くださいます様、お願い致します。

(今回の見どころ・特徴など)

- 1 国際的に活躍する美術家、音楽家が、おおさか柏原で特集作家として展示・発表。
- 2 パフォーマンス部門創設記念、現代音楽の特別企画コンサートの日本初演。
- 3 アートの魅力を表現者が自ら語る、アートフォーラムインおおさか柏原の開催。
- 4 オガタ通り商店街に子供たちがワークショップで作った大型作品群が登場。
- 5 地域の工芸から進化した木とブリキの手作りクラシックカー勢揃い。
- 6 リビエールホールはじめ市内4ゾーン13カ所のサテライト会場での展示や発表。

(開催趣旨)

今や地域では、少子高齢化の進展や商店街をはじめ空店舗・家屋も多く発生し「消滅可能都市」などと言われる中、地域の人々が、地域の保有する魅力や特性を生かし、自信や誇りに思う想いや意識の高まりなどの新たな地域創生が求められています。

また地域でも、アートや文化の持つ精神的な豊かさや新鮮な感動、新たな価値創造と結びついた魅力の情報発信、地域や社会を新たな目線で見つめる可能性を持った資源の発掘、発見を「ヒト、コト、モノの交流」を通じて実現が求められています。

柏原ビエンナーレは、大阪柏原を舞台に「柏原から発信する！芸術祭」として、地域の魅力の拡大と交流を通じ歴史と自然豊かな地から新しい可能性を広げていくことを目的に開催する総合的なアートフェスティバルです。

(概要)

名称：第7回 柏原ビエンナーレ ― 柏原から発信する！芸術祭
日時：2016年10月9日（日）から10月16日（日）10：00～18：00（最終日は16：00迄）
会場：リビエールホール（柏原市民文化会館）及び4つの地域サテライトゾーン内の会場
参加：入場無料
主催：柏原ビエンナーレ実行委員会（委員長：森田耕太郎）
共催：柏原市
後援：大阪府、大阪府教育委員会、柏原市教育委員会
運営主管：アーツプロジェクト・イン・おおさか柏原（アッポコ）
サイトURL：<http://www.appoko.org>

(主な内容)

■多彩な芸術文化表現による部門別の構成

展覧会部門には、特集作家をはじめ、公募に応募された大阪・関西一円から参加される一般と子ども部門があり、会期中全日開催しています。

また、会期中に、パフォーマンス部門（10月15日特別企画コンサート「柏原の音 音でたどる軌跡」、16日 観音寺）、アートフェア部門（10月9日、10日）が、それぞれの期日に開催されます。

それらの出展等参加総勢67団体・名です。（内訳）展示部門：特集作家3名、一般47団体・名、子ども部門4団体など、パフォーマンス部門：特集団体2団体、一般3団体・名、アートフェア部門：5団体（別紙1：出展者など一覧）

■アートフォーラムインおおさか柏原：10月9日（日）15時から、リビエールホール地下ホール

展覧会部門の特集作家として関西のみならず国内外で作品発表をされている石賀 直之氏、松谷博子氏、松田 彰氏の3名と共に、パフォーマンス部門特別企画コンサートの出演作曲家で国際的に活躍されている小林 純生氏、ギャラリストで関西の様々なアートシーンで先駆的指導的役割を果たしてこられた天野 和夫氏の総勢5名をお招きし、「アートフォーラムインおおさか柏原」を開催します。作品の展示や発表だけでなく「アーティストトーク」というかたちで、若手作家や一般の人々と交流する機会を設け、新しい価値観や芸術のあり方を市民や若手作家と共有することで、現代アートの普及を図ります。なお、このフォーラムは、アーツプロジェクト・イン・おおさか柏原（アッポコ）との共催です。（別紙2：アートフォーラム：特集作家一覧等）

■現代音楽の特別企画コンサート：10月15日（土）前半公演 14:00 開演 後半公演 18:00 開演

「柏原の音 音でたどる軌跡」をテーマに、大阪教育大学や京都市立芸術大学と連携を図りながら、聴衆と音楽家により作り上げる現代音楽の演奏会を開催します。音楽や身体表現などの発表の場として、また新たな創造性の可能性を模索する場となることを期待しています。

（別紙3：特別企画コンサート概要）

■柏原の地域の芸術資源と連携

地域の工芸から進化した木とブリキのハンドメイド・クラシックカー勢揃いするマイレッジ倶楽部（岡本賢次&金谷年員）によるコラボレーション作品群も地域賛助作家として公開します。また、地域の子供たちが集まってワークショップで制作した、畳1枚の大きさの「こどもガーデン」作品群を15点、オガタ通り商店街のあちらこちらで展示します。（別紙4：地域賛助と子どもガーデン）

(特徴)

今回の第7回の柏原ビエンナーレの特徴は、

■公募制の総合芸術祭

展覧会、パフォーマンス、アートフェアの3部門による名実共に総合芸術祭として、参加資格には制約のない公募制の開かれた芸術祭を旨とします。また既設の展覧会部門だけでなく、前回から「こども柏原ビエンナーレ」として未就学児から中学生までを対象とした展覧会部門を開設しました。第7回より、パフォーマンス部門を新設するのに加えて、現代音楽の特別企画コンサートを

開催し、他の地域にない進化するアートを目指しています。

■みんなでつくる開かれた芸術祭

第7回柏原ビエンナーレより、これまでの作家会の運営から、地域企業や団体、大学などからなる実行委員会方式に改編し、地域のボランティアを結集し、多くの方々に親しまれるアートイベントへの成長をめざします。（初めて、柏原市が共催として運営に参画され、市を挙げてご協力頂けることになりました。連携協定締結 2016. 5. 1）（別紙4：実行委員会の構成）

■地域からの魅力、価値の再発掘

会場については、メイン会場に加え、サテライト会場として、柏原市内の4つの大きなゾーンを利用して展開します。大平寺地区は、歴史的な街並みとぶどうとワインの農産物のブランドアップ、今町・本郷・古町地区は、柏原船や旧奈良街道を背景にもつ空き倉庫・民家の有効活用、オガタ通り商店街は市民を呼び込む中心的な経済的市街地の形成など、それぞれのゾーンの持つ資源と地域課題に向き合っており、それらと切り結んだまちづくりや地域の活性化につなげていきたいと考えています。（別紙5：サテライト地図）

（部門別構成と問い合わせアドレス）

展覧会部門 info@appoko.org

2016. 10. 9（日）-10. 16（日） 10：00～18：00（最終日は16：00迄）

特集作家の展示をはじめ一般部門とこども部門の展示

リビエールホール地下レセプションホール会場：一般27名、

サテライト会場：一般20名、特集作家3名、地域賛助2名1グループ

子供部門4団体16名、子供ガーデン1グループなど、

パフォーマンス部門 performance@appoko.org

2016. 10. 15（土）10：00～ 2016. 10. 16（日）（最終日は16：00迄）

音楽イベント、ライブイベント、舞踊、身体表現、パフォーマンス等

パフォーマンス部門の新設にあたり、

2016. 10. 15（土）14：00～（前半）18：00～（後半）特別企画コンサート開催

2016. 10. 16（日）観音寺

パフォーマンス部門：特集団体2団体、一般3団体・名

アートフェア部門 info@appoko.org

2016. 10. 9（日）-10. 110（月） 10：00～17：00

展示以外の造形ワークショップ、クラフト作品・手作り小物・地産品等の物販など

アートフェア部門：5団体

以上

（添付資料）

- 1 出品者・参加者一覧
- 2 アートフォーラム（特集作家等一覧も含む）
- 3 特別企画コンサート概要
- 4 地域賛助と子どもガーデン
- 5 実行委員会構成
- 6 サテライト会場地図

本件に関する問合せ先

柏原ビエンナーレ実行委員会 事務局 村瀬 浩（村瀬方）

電話 FAX. 072-976-2280 Email info@appoko.org

（※なお、お問い合わせは午後7時以降にお願いします。）